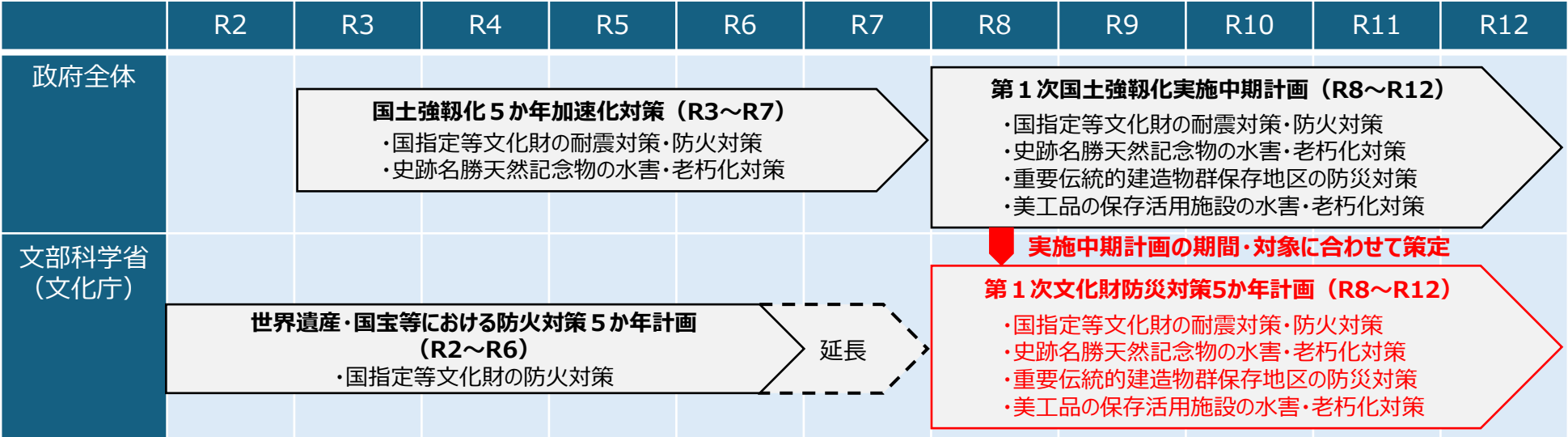


# 文化財防災対策 5 か年計画について

- 文部科学省では、令和元年に発生したノートルダム大聖堂・首里城での火災を契機に、「世界遺産・国宝等における防火対策 5 か年計画」を策定。
- 令和 6 年度末が同計画の期限であったことから、令和 6 年 11 月に「重要文化財等の総合的な防災対策のあり方に関する検討会」を設置し、文化財の防災対策に係る今後の方針として、**防火対策 5 か年計画を 1 年間延長し、「国土強靱化実施中期計画」の閣議決定後に、実施中期計画に期間や対象を合わせる形で「文化財防災対策 5 か年計画」を策定**していくことを決定。
- 令和 7 年 6 月の実施中期計画（R8～R12）の閣議決定後、**防火対策 5 か年計画に盛り込むべき具体的な防災対策の内容について、上記検討会を 3 回実施の上、計画を決定した。**



## 「重要文化財等の総合的な防災対策のあり方に関する検討会」（令和 6 年 11 月設置）

<b>&lt;検討事項&gt;</b> (1)「世界遺産・国宝等における防火対策 5 か年計画」の総括 (2)令和 7 年度以降の文化財に係る総合的な防災計画のあり方 (3)(2)に盛り込むべき具体的な防災対策の内容	<b>&lt;開催実績&gt;</b> <b>第 1 回</b> （令和 6 年 11 月）： 令和 7 年度以降の文化財に係る総合的な防災計画のあり方についての方針を決定 <b>第 2 回</b> （令和 6 年 12 月）： 「世界遺産・国宝等における防火対策 5 か年計画」の 1 年間延長案を決定 -----国土強靱化実施中期計画閣議決定----- <b>第 3 回</b> （令和 7 年 8 月）： 「文化財防災対策 5 か年計画」に盛り込むべき内容について議論 <b>第 4 回</b> （令和 7 年 11 月）： 「文化財防災対策 5 か年計画（案）」の提示 <b>第 5 回</b> （令和 7 年 12 月）： 「文化財防災対策 5 か年計画（案）」の決定
<b>&lt;有識者メンバー&gt;</b> ・奥 健夫（武蔵野美術大学教授） ・腰原 幹雄（東京大学生産技術研究所教授） ・後藤 治（工学院大学総合研究所教授・理事長） ・関澤 愛（日本防火技術者協会理事長） ※座長 ・西形 達明（関西大学名誉教授・関西地盤環境研究センター顧問）	